



世界経済フォーラムが毎年発表している「ジェンダー・ギャップ指数」が3月末ようやく発表されました。このジェンダー・ギャップ指数は、男女不平等指数とも呼ばれ、男女間でどのくらいの格差が生じているかを数値化、ランキングにしたものです。

今月はこのジェンダー・ギャップ指数を取りあげます。



日本の男女不平等格差 120位の現状

「経済」「教育」「政治」「健康」の4つの分野で評価

0に近いほど不平等、1に近いほど平等

日本の順位は、過去最低だった昨年の121位から1つ上がって120位でした。この順位は主要先進7か国（G7）で最下位です。

アイスランドは12年連続で首位を守っています。上位には北欧が多く、これらの国々は4つの分野でまんべんなく高い指数となっています。

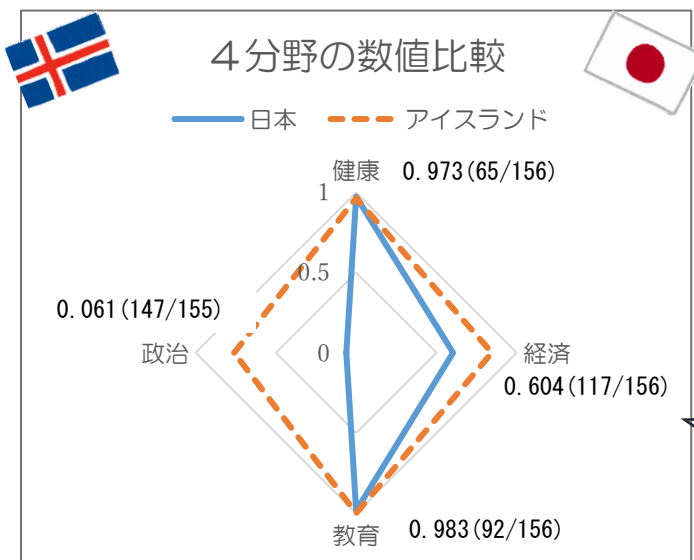
アジアで最も順位が高かったのはフィリピンで17位。アジア圏は相対的に「政治」の分野で伸び悩む傾向があります。お隣の韓国は102位、中国は107位でした。

順位	前回順位	国名	指数
1	1 (-)	アイスランド	0.892
2	3 (+1)	フィンランド	0.861
3	2 (-1)	ノルウェー	0.849
4	6 (-2)	ニュージーランド	0.840
5	4 (-1)	スウェーデン	0.823
(中略)			
17	16 (-1)	フィリピン	0.784
(中略)			
30	53 (+23)	アメリカ	0.763
(中略)			
107	106 (-1)	中国	0.682
(中略)			
120	121 (+1)	日本	0.656

日本の指数については「健康」分野以外は昨年度より格差が少なくなっており、改善が見られます。総合順位は1つ上がった一方で、4分野いずれも昨年度より順位が下がっています。

このことから、日本も努力していることが伺えますが、それ以上に、世界の男女格差をなくす取り組みが速いということです。

項目は4つで、アイスランドはほぼ四角形となっていますが、日本は「政治」の項目がほとんど伸びず、三角形に近くなっています。



※カッコ内の数字は、それぞれの項目の日本の順位



今月のギモン

政治は男性のもの？

こう聞かれれば、「女性だって政治に参加できる」という声が聞こえてきそうです。しかし、衆議院議員に占める女性の割合は、9.9%で、1割にも満たない状況です。つまり、議場の9割が男性議員で占められているということです。

世界を見渡すとここ数年、ニュージーランドやフィンランドなど、いくつかの国で女性の国家リーダーが誕生しています。日本で女性議員が少ないということは女性の首相が誕生する可能性が限りなく少ないということでもあります。

日本の人口に占める男女の比率は、約半々。議場でも同じ比率になるのは、いつ頃になるのでしょうか。この答えは、私たち一人ひとりの意識と行動に託されています。



今月知っておきたい言葉

JKビジネス

児童の性を売り物にする営業の一つ。「JK」、すなわち女子高校生など18歳未満の者を雇い、表向きには性的サービスを伴わない健全な営業を装いながら、「裏オプション」等と称して、児童による性的なサービスを客に提供させているもの*。

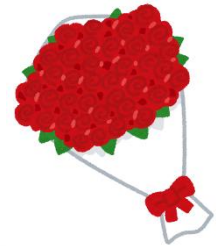
その市場規模は年間800億円にも迫るとも言われている。

一見、手軽なバイトに見せかけて、実は危険と隣り合わせなことがあり、警察も注意を呼びかけている。

※内閣府「第5次男女共同参画基本計画」による



新着図書のご紹介



パレア松本には図書コーナーがあり、どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。今月は絵本も含めてご紹介します。



『マスクをとったら』（いりやまさとし、講談社、2021年）

もう1年以上続いているマスク生活。みんな「マスク取りたいな〜」と思っているのではないのでしょうか。そんな気持ちを素直に表現した絵本です。やさしいイラストが自粛生活でこわばった気持ちを、柔らかくほぐしてくれます。皆さん、「マスクをとったらなにしたい？」

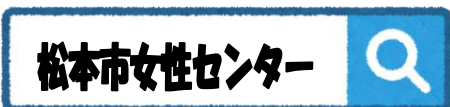
『改訂新版 カウンセリングで何ができるか』（信田さよ子著、大月書店、2020年）

よく聞けけれどしっかりわかっていない「カウンセリング」。カウンセラーが35年間の経験をもとに、カウンセリングの歴史やその実態、普段意識していることなどをわかりやすく説明します。



この通信は、松本市公式ホームページでも見ることができます

Facebook もやっています！



<編集・発行>

松本市 人権共生課（松本市女性センター）

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 /FAX 0263-37-1153